

自民党滋賀県議会議員団 様

2024年3月14日

日本共産党滋賀県議会議員団

節木 三千代

中山 和行

自民党青年局の不適切会合の全容解明、謝罪、処分を求めます

昨年11月、和歌山市内で開かれた自民党青年局の会合が、露出度の高い衣装の女性ダンサーが複数招かれ、不適切な会合だったことが発覚し、国民の怒りが沸騰しています。会合を主催した自民党の責任が問われています。その上、「自民党滋賀県連が参加費を支出していた」とされるなど、政党助成金などの公費支出が疑われる由々しき事態であり、自民党青年局長らの辞任などでの幕引きは許されません。

同時に、県民からは「国民が物価高、生活苦であえいでいる中、『やめようよ』という議員が1人も出てこなかったのか」など、参加した各議員に対しても強い批判が出ています。報道されている不適切な行為が事実であれば、議員の資質が問われる重大問題であり、謝罪などで許されるものではありません。

県内の自民党からは、井狩辰也県議、大津市議2人、近江八幡、東近江、甲賀の各市議1人ずつ、計6人もの議員が参加したとされています。「会費」については、県連が支出したと報じられています。全容解明と謝罪、参加議員の処分、今後の対策など、県民・市民にただちに明らかするよう申し入れます。